

## 令和3年度京都府ホームヘルパー連絡協議会事業計画

### 〈令和3年度基本方針〉

昨年度より新型コロナウイルスが猛威をふるい、私たちホームヘルパーにも大きな影響を与えました。感染対策を徹底しながら訪問を継続し、利用者の生活を守り続けました。コロナ禍でも活躍するホームヘルパーの姿に世間からの注目が集まる一方で、ホームヘルパーの高齢化や慢性的な人材不足などヘルパーを取り巻く環境は依然、厳しい状況です。

今年度の介護報酬改定では、そのような状況を鑑み、基本報酬の見直しなどが行われましたが、現場の実態に合った十分な支援とは言い難いものでした。

わたしたちホームヘルパーが安心して活躍しつづけるために、現場の声が制度施策に反映されるよう行政機関等への働きかけを行うと共に、ホームヘルパーの専門性や魅力を広く社会に発信することが大切です。今年度、京都府ホームヘルパー連絡協議会（京ホ連）は、今年50周年を迎えます。

これからも本会の目的である『ホームヘルパーの資質向上と会員相互の交流を図り、利用者の自己実現、家族・集団・地域社会の発展、地域福祉・社会福祉の向上をめざす』ために京都府、全国ホームヘルパー協議会や近隣府県のホームヘルパー協議会などの多機関と連携しながら、各事業を展開し、ホームヘルパーの専門性をさらに向上していきます。

### 〈実施計画〉

#### 1. 研修・研究活動について

##### ■ ホームヘルパーの一層のスキルアップと資質向上に向けた取組みを行います。

ホームヘルプサービスのプロとして活躍する人材を育成します。また、研修参加者以外にも学びを深めることができるよう工夫します。（年3回程度）

- (1) 「訪問介護員基礎研修」…初任者を対象とした研修
- (2) 「訪問介護員実技研修」…訪問介護特有の介護技術に関する研修
- (3) 「サービス提供責任者研修」…サービス提供責任者を対象とした研修
- (4) 「テーマ別研修」…社会情勢や会員から要望の多いテーマに関する研修
- (5) ホームヘルプ研究の発行に努めます。

#### 2. 調査・広報活動について

##### ■ 「ホームヘルパーの仕事の魅力」や「ホームヘルプサービスのノウハウ」など、在宅介護に役立つ情報を発信します。

- (1) ホームページを通じてホームヘルパーの仕事の魅力や在宅介護のノウハウを紹介するなど、ホームヘルパーの仕事に興味を持つ人が増えるよう発信力の強化に努めます。
- (2) ホームヘルプサービスの充実に必要な課題に関する調査を実施します。

- (3) ホームページの会員限定ページの運用について検討し、ホームヘルプサービスの充実に関する各種情報提供に努めます。
- (4) 50周年事業として、ホームヘルプの価値や魅力を広く発信する機会をつくりま

### 3. 関係団体との連携について

#### ■関係機関とのネットワークを広げ、積極的にホームヘルパーの声を発信していきます。

- (1) 全国ホームヘルパー協議会や近隣府県のホームヘルパー協議会との連携・協力をすすめます。
- (2) 介護保険に関する制度改正や社会情勢等を踏まえ、会員からのアンケートや、幹事会で議論された内容をもとに、ホームヘルプサービスの充実に関する京都府との懇談会を開催します。
- (3) 各種関係委員会等に幹事が分担して参加、協力していきます。
- (4) 関係機関・団体との協力・連携を図ります。

### 4. 組織の充実・発展を目指して

#### ■会員同士のつながりを大切に、ホームヘルプサービスの充実と発展を推進する団体であり続けるためにより良い事業活動を展開します。

- (1) 実施事業の分析や会員へのアンケート等を通じて、より良い事業活動を展開します。
- (2) 京ホ連の取り組みを広く宣伝することで、京ホ連への関心や事業への参加を促します。
- (3) ホームヘルパー同士のつながりをつくり、日ごろの悩みや仕事のやりがいなどを共有できる場として、会員交流会の場を設けます。

### 5. 役員会等の開催・参加について

次の会議等を開催、参加していきます。

- (1) 総会（年1回）7月 文書審議で開催
- (2) 幹事会（年4回程度）第一回目を終了 2回目を9月3日に予定
- (3) 監事会（年1回）
- (4) 全国ホームヘルパー協議会総会・協議員セミナー